

別紙

1 件名

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」第2回評価・検証委員会
【てん末】

2 日時

令和7年2月25日（火）14時00分～15時00分

3 場所

滝沢市役所 2階 201会議室

4 参加者

滝沢ふるさと交流館	館長	三上 潤一
	事業課長	佐藤 樹理
株式会社スタディア		大森 竜也
子育て課	課長	藤島 紀子
	主査	佐々木 亮介
生涯学習スポーツ課	総括主査	細川 健一
〃	社会教育指導員	藤澤 英輝
〃	主事	西舘 陽真
〃	主事	村田 涼馬

5 内 容

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 報告

ア 事業の活動内容の共有、情報交換

1年間の活動にかかるアンケート集計結果は、別紙1のとおり。

【中部地域放課後子ども教室（チャグホ塾）】

- ・2月15日（土）に開催した「チャグホ塾発表会」では、過去最大の350名の参加者が訪れた。また、来場した保護者のほぼ全員にアンケートに協力していただいた。
- ・今年度新たに盛岡西警察署と滝沢消防署の方を招いて、交通安全教室や消防士体験を実施した。また、プロバスケットボールチームの岩手ビックブルズ元チアリーダーの方を招いて、運動教室を実施した。

【姥屋敷地区放課後子ども教室】

- ・放課後子ども教室実施場所を、旧姥屋敷保育所に変更したことにより、子どもたちを見守りやすくなった。

- ・多様な体験学習（都南浄化センターやダム見学、実験教室、一本木学童とのイベント交流、チャグホ塾との連携事業等）の場を創出できたと考えている。

【柳沢地区放課後子ども教室】

- ・比較的、内部での活動が多かったが、（外部講師や、外部での体験活動を敬遠する参加者がいるため。）昔遊びのおもちゃ作りや小岩井農場のイルミネーション観賞、姥屋敷地区放課後子ども教室とのボーリング大会等、体験活動の充実に努めた。

（４）協議

ア 今後の実施予定等の共有

【中部地域放課後子ども教室】

- ・２月１５日をもって事業終了

【姥屋敷地域放課後子ども教室】

- ・事業全体は３月３１日まで活動予定
（国庫補助対象経費に係る活動は２月３日に終了）

【柳沢地区放課後子ども教室】

- ・事業全体は３月３１日まで活動予定
（国庫補助対象経費に係る活動は２月５日に終了）

イ 令和６年度第２回国庫状況調査について
別紙２のとおり

ウ 令和７年度の事業内容について
別紙３～５のとおり

（５）総評

アンケート結果を見ると、参加者と保護者共に肯定的な意見が多く、放課後の安心・安全な居場所づくりが為されていると感じる。この事業の良い点として、様々な体験を子どもたちにさせていることが大きい。最近の子どもたちは、遊ぶ時間と場所が用意されていても、遊び方が分からないという場合が多いが、本事業はそのような課題を補完する場になっていると感じる。すなわち、「異年齢が一緒になって活動することを通して社会性・人間性を身に付ける場」である。

また、第１回目の評価検証委員会でも言及した、心と体の幸せを考える「ウェルビーイング」の入口にもなっている活動だと思う。そのため、子どもたちが、自分の幸せだけでなく周りの幸せも考える大人に成長できるようにイメージしながら日々活動して行ってほしい。

(6) その他

今年度設定した重点的に取り組む課題に応じた目標について、「放課後子ども教室の活動にかかる地域の指導者数」を指標としており、目標値を50人としていた。今年度は58人（中部38人、姥屋敷11人、柳沢9人）の地域の方に事業に関わっていただき体験活動の内容充実に努めた。

姥屋敷地区及び柳沢地区は開設年数が浅いことから、持続的に体験活動を提供できる体制づくりが重要と考えるため、今年度設定した重点目標は達成したが引き続き「地域の指導者数」を重点目標の指標とする。児童・保護者による本事業の満足度に関するアンケート調査結果は次のとおり。

	チャグホ塾	姥屋敷地区	柳沢地区
参加者満足度	100%	100%	100%
保護者満足度	100%	100%	100%
全体満足度	100%	100%	100%